Google Pixel 4 XL ラウドスピーカーの交換

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Google...

作成者: Carsten Frauenheim

はじめに

この修理ガイドはiFixitのテックライティングスタッフによって執筆されたもので、Googleによって承認されたものではありません。iFixitの修理ガイドのクオリティーについては、 こちらを参照してしてください。

このガイドは、Google Pixel 4 XLのラウドスピーカーの交換をするための修理情報です。

ラウドスピーカーは接着性のガスケットでフレームに装着されています。ラウドスピーカーを取り出すと、Pixelは防水性能を失ってしまいます。

ご注意: Googleは、フロントレーザーアセンブリを解体すると、不可視の赤外線レーザー放射に危険にさらされる可能性があると警告しています。 安全上の警告を読むには、こちらを参照してください。

ツール:

- SIM Card Eject Tool (1)
- iFixit Opening Picks (Set of 6) (1)
- iOpener (1)
- Suction Handle (1)
- Tweezers (1)
- Spudger (1)
- T3 Torx Screwdriver (1)

手順 1 — SIMカードトレイを取り出します。

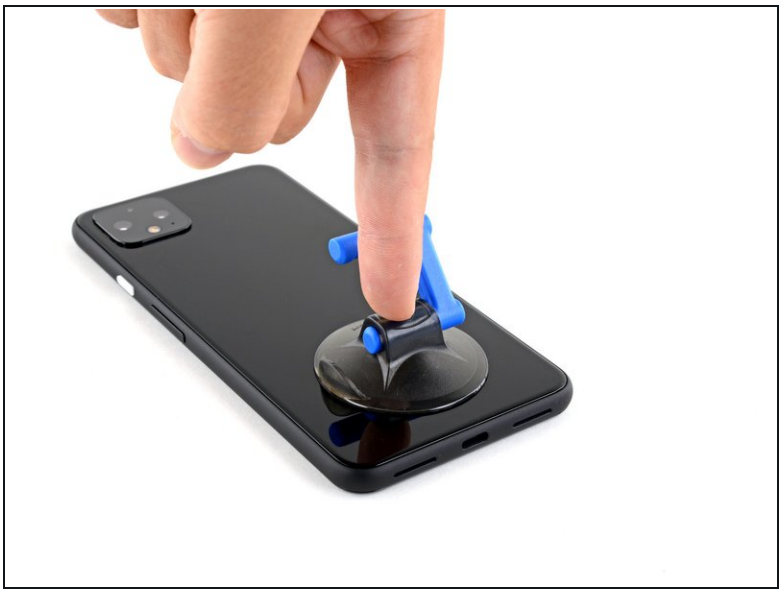
- SIMエジェクトツーツを、デバイス本体の左端にあるSIMカードトレイ上にある小さな穴にまっすぐ差し込みます。
- しっかりと押し込んで、トレイを取り出します。
- SIMカードトレイを取り出します。

手順 2 — バックパネルガラスを温めます。

- iOpenerを準備して、デバイスのバックパネル下側端に約1分間載せます。

  ⓘ ヘアドライヤー、ヒートガンやホットプレートでも対応できますが、デバイスのオーバーヒートにご注意ください。デバイスと内蔵バッテリーは熱に対してデリケートです。

手順 3 — 吸盤カップを装着します。



- 温めたバックパネルの端に近い位置に、吸盤カップを押し込んで装着します。

  ⓘ バックガラスにひどい亀裂が入っている場合は、透明な梱包用テープでカバーすると、吸盤がしっかりと装着します。あるいは、吸盤の代わりに非常に強力なテープを使用することもできます。 これら全てがうまくいかない場合は、壊れたパネル上に、瞬間接着剤などの強力ボンドを吸盤に付けて装着してください。

手順 4 — 開口ピックを挿入します。

- 一定の強い力で吸盤カップを引き上げて、バックパネルとフレームの間に隙間を作ります。

  ⓘ デバイスの使用年数にもよりますが、これは難しい作業です。うまく進まない場合は、端を再度温めてください。

- 開口ピックの先端を隙間に差し込みます。

手順 5 — 接着剤を切開します。

- 差し込んだ開口ピックを、左側コーナーに向けて下部をスライドして、接着剤を切開します。
- ピックを差し込んだままで、左下コーナーから右下コーナーに向けて下部端をスライドして、接着剤を切開します。
- 接着剤の再装着を防ぐため、ピックを右下コーナーに残したままにします。

手順 6 — 左側の接着剤を切開します。

- iOpenerを準備して、デバイス左側端に沿って約1分間載せます。

手順 7

- 2番目の開口ピックを、充電ポート上のバックパネルの下に差し込みます。
- 開口ピックを左側コーナーまでスライドします。

手順 8

- 開口ピックを左下コーナー周辺にスライドして、デバイス左側の接着剤を切開します。

  ⓘ 接着剤は粘着性があります。ミシンの動きのように開口ピックを入れたり出したりしながら、接着剤を切開するとうまくいきます。

- カメラ周辺の左上のコーナーに到達したら止めてください。開口ピックはそのまま残しておきます。

手順 9 — 右側の接着剤を切開します。

- iOpenerを準備して、デバイスの右端に沿って約1分間温めます。

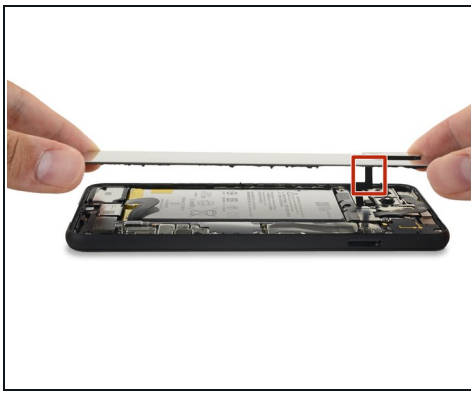
手順 10

- 最初の2枚目の開口ピックを残したまま、3枚目の開口ピックをデバイス右端の下側に差し込みます。
- 開口ピックをデバイス上部に向けてスライドして、右側の接着剤をスライスします。
  - 右上コーナーに到達したら止めて、ピックをその場に残しておきます。

手順 11 — デバイス上部の接着剤を切開します。

- 3番目の開口ピックを右上コーナー周辺をスライドして、デバイス上部の接着剤をスライスします。

手順 12 — バックパネルを持ち上げます。



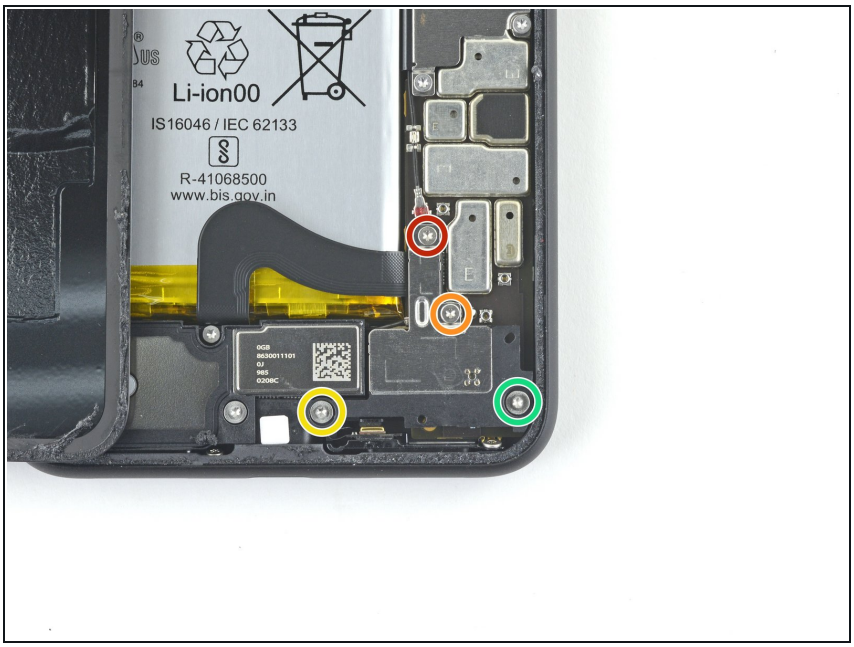
- デバイス周辺の接着剤のスライスが終わったら、本を開くように、バックカバーの右端を慎重に持ち上げます。
  - パネルを完全に外さないでください。デバイスにケーブルが繋がっています。

手順 13

- 付属のリボンケーブルにストレスを加えないように注意しながら、バックパネルをデバイス左端に載せれるまで開きます。

再組み立て中、デバイスの電源を入れ、密閉する前にすべての機能をテストしてください。点検後、作業を再開する前に、デバイスの電源を切ってください。

手順 14 — バッテリーの接続を外します。



- バッテリーコネクタシールドを固定しているT3トルクスネジを4本外します。
  - 1.8 mmネジー1本
  - 4.1 mmネジー1本
  - 4.4 mm肩ツキネジー1本
  - 4.0 mm肩ツキネジー1本

作業中、[各ネジをきちんと安全に保管してください]。再組み立ての際は、どの位置に戻すか確認してください。

手順 15

- ピンセットで、バッテリーコネクタシールドを取り出します。

手順 16

⚠ バッテリー周辺でスパッジャーを使用するときは、バッテリーに穴を開けないようにご注意ください。

- スパッジャーの先端を使用して、バッテリーコネクタをマザーボードからまっすぐ上にこじ開けてバッテリーを外します。

このようなプレスコネクタを再装着するには、片側を慎重に位置合わせして、カチッと所定の位置に収まるまで押し下げてから、もう一方の側でも同じ作業を繰り返します。 中央部分を押し下げないでください。 コネクタの位置がずれていると、ピンが曲がって永久的な損傷を引き起こす可能性があります。

手順 17

- スパッジャーの平面側先端を使って、バッテリーケーブルを慎重に折り返します。これで作業中、アクシデントで接触するのを防止できます。

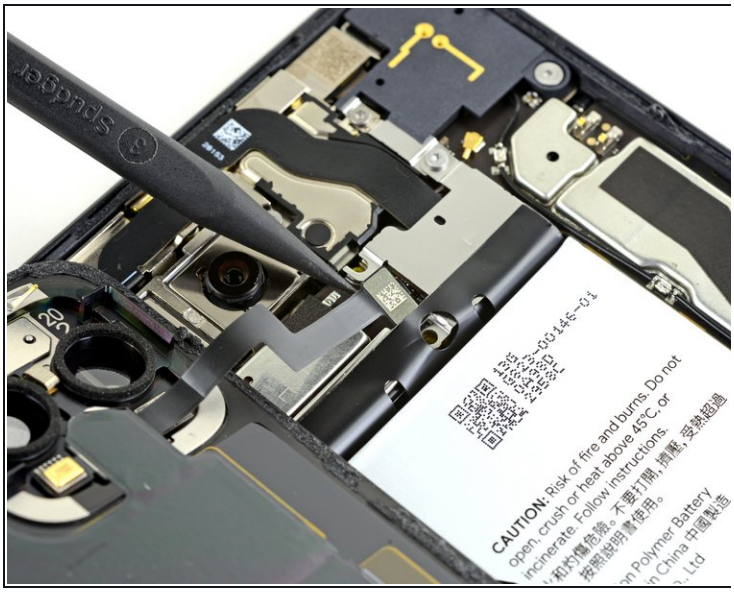
手順 18 — バックパネルコネクタの接続を外します。

- T3トルクスドライバーを使って、バックパネルのコネクタカバーを固定している4.1mmネジを2本外します。

手順 19

- ピンセットを使って、バックパネルのコネクタカバーを取り出します。

手順 20



- スパッジャーの先端を使って、バックパネルのコネクタの接続を持ち上げて外します。

手順 21 — バックパネルを取り出します。

- バックパネルを取り出します。

再組立ての際は、こちらの修理ガイドを参照して、カスタムカットされた接着剤をデバイスにインストールしてください。

もしくは プレカットされた接着カードを使用する場合は、こちらのガイドを参照してください。

手順 22 — ラウドスピーカーを取り出します。

- ラウドスピーカーを固定しているT3トルクスネジを3本外します。
  - 4.1 mmネジー1本
  - 2.7 mmネジー1本
  - 4.4 mmネジー1本

手順 23

- ピンセットを使って、ラウドスピーカーを取り出します。

交換用のラウドスピーカーを取り出す前に、接着性ガスケットを確認してください。

- 状態が良ければ、ガスケットの再利用が可能です。ガスケットが出口穴を覆っていないことを確認してください。
- ガスケットの位置がずれている場合は、一度取り外して、事前にカットされた接着ストリップまたはTesaテープと交換します。

オリジナルのパーツと交換用パーツをよく見比べてください。交換用パーツに付いていない残りのコンポーネントや接着シールなどは、インストールする前に新パーツに移植する必要があります。

このデバイスを再組み立てするには、インストラクションを逆の順番に従って作業を進めてください。

e-wasteを処理する場合は、認可済みリサイクルセンターR2を通じて廃棄してください。

修理が上手く進みませんか？ベーシックなトラブルシューティングのページを参照するか、このモデルのアンサーコミュニティに尋ねてみましょう。